



FC東京

FC東京が大切にしてきたもうひとつの「居場所」あおぞらサッカースクール! (知的障がい者対象) 1/2



Story

FC東京のグラスルーツ宣言は次のとおり。
「サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、人を育て、夢を育みます。

仲間の笑顔で包まれるような活動を増やし、東京を元気にします。」

年齢、性別、障がい、人種などに関わりなく「だれもが、いつでも、どこでも」サッカー、そしてスポーツの持つすばらしさの多くをみなさんと分かち合い、育みたいと考えています。

誰もが心からサッカーを楽しめるように、自分のニーズや希望に合ったサッカーの選択肢を増やし、安全に、安心してサッカーを楽しめる環境を、しっかりと整えます。

本活動は、主に知的・発達障がいのある方を対象としたサッカースクールです。毎月第2日曜日に開催しており、2018年5月に開校いたしました。

もともとは日韓ワールドカップ(W杯)が開催された2002年、調布市とともに知的障がい者とサッカーをする教室を開催したことがきっかけです。その時の子どもたちの楽しそうな表情、保護者の皆さんの嬉しそうな様子が格別で、この機会をとにかく増やしていくこととなりました。

参加者はダウン症、多動症、自閉症など障がいは様々であり、接し方にも専門性が求められるため、知的障がい者のサッカー教室を運営する認定NPO法人トラツソスの協力を得ながら行ってまいりました。

調布市内に在住、在学、在勤の方々を対象として、調布市から市報やHPなどを通じて募集がなされ、調布市より補助金の交付を受けながら、トラツソスのコーチとFC東京の普及部コーチたちが連携して活動がスタートいたしました。

当初は年間に4回のみで開催でしたが、徐々に拡大していき、いよいよ定期的に継続的に開催されるように発展してきた次第です。

さらに、あおぞらスクールの会場も、スーパースポーツゼビオ調布東京スタジアム前店が、本活動の趣旨に賛同して、無償で利用させてくださっています。

担当のFC東京普及部の鯨井健太コーチは次のように語ってくれました。

「単発の教室の場合、その場のコーチと子どもたちの関係性によって子どもたちにとって良かったかどうかが変わってしまいます。定期的にやることで私たちと子どもたちの関係性が保たれ、深まっています。

知的障がいがある子どもは、何かに突出している子どもが多い。見た目ではわかりづらく、でもそれを周囲に受け入れてもらえないことで自尊心を傷つけられてきている子どももいます。そういう子どもたちへの居場所を作りたいという想いで続けてきました。障がいがある子どもの中には、サッカーがしたいのにする場がなくて困っている子どもたちは多い。Jリーグクラブはサッカーを上達させることを求められていると思いますが、加えて、人間教育もできるというところにつなげていきたいです」

自分が受容されていると感じた子どもは表情が明らかに変わるし、この一連の話は健常者への指導にも通じるもの。障がい児と接しながら、コーチたちも磨かれ学ばせてもらっていることも多いです。

そして単発のイベントではなく、定期的なスクールにしたのは、日常の一部に少しでも近づけたかったからです。サッカーを教わるというよりもコーチたちに会うのを楽しみにしている参加者も多いかもしれません。

そんなこともあってコロナ禍でも、オンラインでコーチや仲間の顔を見られる機会を絶やさずに、積極的に交流に努めてまいりました。

トラツソスの吉澤昌好副理事長は「子どもたちはスクールのこの1日のために他の日を過ごしていることも。ここでコーチたちと一緒に楽しむために体調を整えてくる。そうすることによって日々の生活も安定する」と話してくれました。そしてサッカーをプレーすることも継続して本当に上手になっていき、自信もつけていきます。

FC東京U-18やU-15の選手の間力向上も期待して、あおぞらサッカースクールと合同練習を行うことも大切にしています。U-18の選手は周りに目を配り「この子はボールに触っていないよ」と伝え合ったりパスを出したり、障がい児と接点を持ったことで、コーチも選手もクラブスタッフも気づかされるのが本当に多いです。

そしてこれまでの活動については、発達障害の学会からもすでに評価していただき、トラツソスとともに発表させていただく予定です。

今後は、知覚過敏な子どもたちにもセンサリールームを用意して試合観戦を楽しむ機会も提供したり、試合運営業務にボランティアメンバーのみならずとともに携わることも増やしてまいりたいと考えています。プレーだけでなく、様々なかわりや交流、社会経験を重ねることによってさらに多くの刺激を届けたいと思います。



FC東京

FC東京が大切にしてきたもうひとつの「居場所」あおぞらサッカースクール！（知的障がい者対象） 2/2



活動詳細情報はこちら



<https://www.fctokyo.co.jp/news/8993>

<https://www.facebook.com/ChofuCity/posts/1765853903468110/>

<http://chofuoyanokai.com/index.php?QBlog-20200802-1>

活動場所

ゼビオスポーツパーク調布 他

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、NPO、学校、行政

協働者名

認定NPO法人トラツソス、調布市、
スーパースポーツゼビオ調布東京スタジアム前店

